

これまでのとりくみ



全国学力・学習状況調査の結果より



これからのかたち

- 【学校教育目標】子どもたちが生きる未来の科学や文化の創造と発展のための主体者を育成する
〔めざす子ども像〕・たくましく心豊かな子ども　・自ら学び、努力し、考えを表現できる子ども
・自分を大切にし、友だちとも仲良く協力する子ども

〔めざす子ども像〕の中から、特に「自ら学び、努力し、考えを表現できる子ども」の育成について。本年度は研究主題を「言葉を大切にし、自ら考え方表現し、伝え合う子どもを育てる」とし、特に国語科で、自分に必要な情報を収集し、内容を整理し、表現する活動を通して、「伝えたい事柄を明確に書く力」の育成をめざし取組みを進めている。

また、本に親しみ、思考力や想像力を高めるための朝読書や基礎的な力（語彙・文法・漢字・読み解など）をつけるための朝学習に取り組んでいる。さらに、表現し、伝え合う場として校内作文放送を行っている。

教科の結果より

〈国語〉

- ・学年別漢字配当表に示されている漢字を文の中で正しく使うことについてはできている。
- ・自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫することに課題が見られた。資料などから言葉や文を取り上げて「事実」は書いていても、「考え方」を書くことに課題がある。
- ・物語の文の中における主語と述語の関係を捉える問題では、主語を形式的に判別していく、文の構成を理解した上で捉えることができなかったり、修飾と被修飾との関係と混同してしまったりしている。また、登場人物の人物像を具体的に想像することに関する問題でも課題が見られ、日常的な読書習慣が少ないとても関係があると考えられる。心に残ったところとその理由をまとめたものを記述する問題は達成できているが、無解答率が高い結果であった。

〈算数〉

- ・速さの意味について理解することに課題が見られた。速さを単位時間当たりに移動する長さとして捉え、道のりと時間の関係に着目し、問題場面や図、式を関連付けて、求めた速さをもとめることに課題がある。
- ・示された情報を基に、表から必要な数値を読み取って式に表し、基準値を超えるかどうかを判断することに課題が見られた。また、式に表すことはできても、その答えから求めることを正しく解答できていない子どもがいたと考えられる。

児童・生徒質問紙より

- ・ICT 機器を授業や授業以外の勉強で使用する頻度が平均より少なく、また、ICT 機器を活用し、自分で学習を進めたり、調べたり、伝えたりすることに課題が見られた。
- ・「自分と違う意見について考えるのは楽しい」や、「話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、新たな考えに気付いたりすることができている」という質問に対し、肯定的な回答が低い結果であった。

- ・主語や述語、文末表現を意識して文章を読んだり書いたりすること
- ・経験したことを基に自分の思いや考えを「日記（作文）」に書いたり、本を読んで、感じたことや考えたことを「読書の記録」に書いたりする活動
- ・互いの意見や感想を共有することを通して、違いを明らかにしたり、よさを認め合ったりすること
- ・数量の関係を考察したり、統計的な問題解決の方法を進んで生活に生かすこと
- ・情報の収集、整理、表現する活動の中で、ICT 機器を積極的に活用していくこと